

松任地区との意見交換会で寄せられた意見（令和８年６月協議）

（テーマ）

- ・現役世代が無理なく参加できる地域コミュニティのカタチ

No	松任地区からの主な意見	常任委員会での協議内容
1	コミュニティは横のつながりも大事だが、縦のつながりも重要である。世代ごとで行うコミュニティの考え方をどのようにつないでいくかが重要。	【総務企画常任委員会】 地域コミュニティの持続可能性を担保する上で、地縁的な横のつながりに加え、世代を超えた縦のつながりの構築は極めて重要な課題であります。世代間交流は、シニア世代の生きがい創出、子供の社会性の育成、そして現役世代の相互扶助を促進し、災害に強いまちづくり、地域の見守り活動、さらには、地域伝統文化の次世代への継承といった多面的な価値をもたらします。 本市においては、市内全 28 地区の地域コミュニティ組織による主体的な地域づくり活動を通じ、こうした世代間の連携を推進しており、シニア世代の有する深い経験と知恵と、若い世代の柔軟な感性と自己決定権を、相互に尊重し合う関係性の醸成が重要であると考えております。各地域コミュニティ組織において、デジタルツールの活用やプロジェクト型の活動など、各世代のライフスタイルに合わせて参画できる多様な窓口を広げることは、地域全体の活性化に直結すると確信をしております。 今後も多世代が結びつき、誰もが安心して暮らせる活力ある地域社会の実現に向け、地域コミュニティ組織と話し合いながら、市民協働のまちづくりを推進してまいります。
2	小学校に入学してから初めて地域コミュニティとの接点ができるケースが多い。婚姻時や出産時など、より早い段階から地域と緩やかにつながる必要がある。 【意見交換会での担当班（議員）の回答】 例えば、避難訓練を行い、安否確認や炊き出し訓練を行う中で、町内の人が顔を合わせられればコミュニケーションが図れるので	【総務企画常任委員会】 小学校入学を契機とした地域との接点は重要であり、少子高齢化と核家族化が進む現在においては、より早い段階から地域と繋がる仕組みは不可欠であります。 本市では、市民協働の要である地域コミュニティ組織と連携し、ライフステージに応じた緩やかなつながりを増やすことが重要であると考えております。例えば組織が取り組めるものとして、

	はないか。	婚姻や出産といった人生の節目に地域から温かいメッセージをお届けするサポートや、忙しい現役世代でも無理なく地域に関われるようオンライン活用や短時間の活動を通じて、参加して楽しいと実感していただけるような共創の場を築く、誰もが地域参加しやすい環境づくりが有効ではないでしょうか。 また、住民一人一人の特技やスキルを生かせるよう、柔軟で開かれた組織運営も積極的に取り組んでいただきたいと考えております。いずれにいたしましても、地域コミュニティ組織のアイデアを生かした多様な取組を支援しながら、誰もが安心して暮らせる活力ある地域を地域住民の皆様と共に作り上げてまいりたいと考えております。 【文教福祉常任委員会】 民生委員、児童委員、主任児童委員が未就学の子供がいる家庭を訪問する、子育て家庭見守り訪問事業を毎年実施しております。 訪問の際に地域にある子育てひろばや相談先が記載されているパンフレットをお渡しし、地域とのつながりづくりを手助けしております。 また、児童館とコミュニティセンターの合同行事や子育て支援団体がコミュニティセンターを会場として、産後ケア講座を開催するなど、子育て家庭が地域コミュニティと接点ができるような取組がなされております。 今後も地域コミュニティの中で、親同士や子育て支援者、地域の方々とつながり、安心して子育てができる環境を整えてまいります。
3	紙の回覧板は現役世代（不在がちな世帯）に情報が届きにくく、実質的に若年層を切り捨てる仕組みになっている。また、高齢層への配慮（紙との併用や移行期間の設置）は必要だが、データ軽量化などの技術的工夫を凝らし、双方向で迅速に連絡が取れるデジタル環境を早期に整備してほしい。	【総務企画常任委員会】 近年、町内会の担い手の高齢化や若年層の町内会に対する価値観の多様化により、各町内会での紙媒体の配布業務の維持が困難になっているとの御指摘や改善要望をいただいております。また、世代間で情報の取得方法に対する考え方に差があることも認識しております。

このため、各町内会での配布業務の軽減や紙資源の削減による環境負荷の低減を図るため、電子回覧アプリの導入に関する市民アンケートを今月 3 日に送付したところでございます。

なお、このアンケートは紙での回答とWEBでの回答の両方に対応しており、送付対象者は全町内会長及び地域別年齢人口を考慮して抽出した 2,000 人となっております。

また、WEBの方限定ではありますが、全コミュニティセンターにも回答を依頼したところでございます。

併せて広報 7 月号には、郵送での依頼が届いていない市民の方にも、幅広くアンケート調査に御協力いただけるよう二次元バーコードを掲載する予定としております。

現時点で早期に整備してほしいという点での明確な御回答とはなりません。本アンケートにより市民の皆様の御意見やニーズを幅広く把握し、今後の情報伝達の在り方を検討していきたいと考えております。